



防犯カメラを活用した不審者対応訓練（石巻市立大街道小学校）

11月27日、同校では、防犯カメラを活用し、不審者が校地内に侵入したことを素早く察知して、避難等の対応を行う不審者対応訓練を実施しました。

なお、防犯カメラ(3台)は、石巻市教育委員会が文部科学省委託事業の「学校安全総合支援事業」を活用し、実践校として選定した同校に、不審者対応等への備えとして設置したものです。

以下に、同校の訓練概要を紹介しますので、不審者に対する安全体制整備等の参考としてください。

<日頃から備えている主な不審者対応>

○職員玄関及び児童昇降口の施錠

○さすまた・トランシーバー・ネットランチャーの配備，インターフォンの設置 等

<不審者対応における課題>

○立地上の問題により、正門からの訪問者を職員室から直接見ることができない。

<防犯カメラの設置にあたって>

○上記の課題解決のため、昇降口前等に防犯カメラを設置し、職員室モニターで状況を把握できるようにした。

<不審者対応訓練の概要>

※事前に、教職員間で危機管理マニュアルを基に、不審者侵入時の対応や教職員の動きを確認した。

①職員室内のモニターに正門から侵入した犯人役の警察官が映し出され、不審に思った教職員が校長に報告し、複数の教職員で用件をたずねるなど、初期対応に当たった。

②教職員は、犯人を刺激しないように声を掛け続けたが、言動から様子がおかしいと判断。持参していたトランシーバーで職員室内にいる校長に報告し、警察に通報した。

③不審者発見時は授業中であったが、校内放送により、あらかじめ決めている緊急事態を知らせる放送を流し、避難行動を開始した。児童は、担任の先生の指示に従って素早く行動し、教室内を施錠して避難した。

④訓練後は、児童に対し、石巻警察署員から「いかのおすしー人前」についての話をいただいた。

⑤また、教職員に対し訓練の講評と、ネットランチャーの使い方についての研修を行っていただいた。

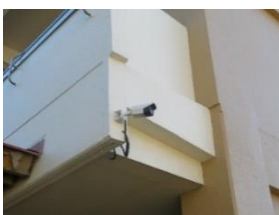
<警察からの不審者対応に関する助言>

○警察に早く通報することが大切。その都度、警察に情報を入れることで、警察も対応策がとれる。

○相手を刺激しない声掛けをする。安全や命に関わることに對しては毅然とした対応が必要であり、複数人で対応することが大切である。

○不審者に対して「防犯カメラに映ってました」という声掛けや、「トランシーバーでのやり取りの姿」などは、不審者への行動抑止につながる言動として効果的である。

<設置した防犯カメラ>



<モニターで確認>



<不審者への対応と警察への通報>



<緊急避難行動>



<訓練後の児童に向けた警察からの話>



<ネットランチャーの使い方研修>



学校防災アドバイザーの助言を基に学校防災マニュアルを見直し ー防災タイムラインの手法を取り入れ、台風接近時等における大雨への対応を検討ー

【宮城県涌谷高等学校】

近年の大雨による災害の激甚化を踏まえ、涌谷高等学校では、台風接近時等における大雨への対応について、防災タイムラインの手法を取り入れ、気象情報や避難情報等を基に、どのタイミングで、どのように生徒の安全確保を図るかなどについて、学校防災アドバイザーの助言を参考に検討し、防災マニュアルの見直しを進めています。

【マニュアルの見直しに至る経緯】

同校は、高台に位置し、学校が所在する涌谷町のハザードマップにおいて、大雨での洪水等による浸水想定地域に該当しておらず、町の地域防災計画においても、要配慮者利用施設の指定にはなっていない。

しかし、学校の周辺は、広い地域で江合川等からの浸水が想定されている。また、同校の生徒は、町外の広域から通学している生徒が多いため、大雨により登下校時にも被害に合わないよう、近年の大雨による災害の激甚化を踏まえ、どのような気象情報や避難情報等を収集し、どのタイミングで生徒の安全確保を図るかなどについて検討を進めていく必要があることから、今回の取組に至った。

【タイムラインの手法を取り入れた見直しの概要】

令和3年11月24日に、同校の防災体制の中心を担う同校の教頭、総務部長、防災主任が、学校防災アドバイザーである東北大学災害科学国際研究所教授 佐藤 健 氏を招き、防災タイムラインの手法を取り入れた台風接近時等における大雨への対応について、助言をいただいた。

同校では、事前に、町のハザードマップにおいて、大雨で洪水による浸水エリアを確認するとともに、同校が洪水時には町の避難場所になっていることを確認したほか、気象情報や避難情報、川の水位などをどこから収集すれば良いかを確認し、これらを基に、防災タイムラインの手法を取り入れた対応案を作成した。

学校防災アドバイザーからは、台風接近時だけでなく、前線の活発化による大雨への対応も考慮した対応を検討すべきなど、様々な助言をいただいた。

同校では、今後、学校防災アドバイザーからの助言を基に、防災マニュアルの台風接近時等における大雨への対応を見直し、生徒や保護者、さらには、地域や近隣の学校とも共通理解を図っていきたいと考えている。



年度末に向けた防災マニュアルの見直しや、地域との防災体制構築検討に向けて、「学校防災アドバイザー」を活用ください。

地域の災害特性や、実効性のある避難訓練等によるマニュアルの見直しにあたって、専門的知見からの助言をいただくことができます。教職員による少人数での打合せにも派遣可能です。

「学校防災アドバイザー」派遣申請に係るホームページはこちらから →→→
「学校防災アドバイザー」派遣費用はかかりません。

